CONTEMPORARY IBSEN FESTIVAL 2013 TOKYO

第２回東京ミドルシアター・フェスティヴァル

現代イプセン演劇祭

企画委員（50音順）
《企画委員長》大笹吉雄
秋葉裕一　扇田昭彦
伊藤 洋　田之倉 稔
斎藤偕子　平田栄一朗
七字英輔　みなもとごろう
瀬戸 宏　毛利三彌

主催：特定非営利活動法人 舞台21
プロデューサー：名取敏行
芸術監督：毛利三彌
アドバイザー：バー・クレメッツェン（Ba Clemetsen）
ノルウェー国立劇場 スポンサーディレクター
コーディネーター：嶋野冷子

前売開始日 10/1（火）

前売チケット取扱い
・カンフェティチケットセンター
0120-240-540（平日10時～18時）
・カンフェティWEB予約 ……→
・あるすぽっとチケットコール 03-5391-0516
（10:00-19:00／3階劇場事務所にて販売／郵送不可）

Confetti（カンフェティ）
http://confetti-web.com
購入でもらえるカンフェティポイントは、次回公演や他公演でご利用頂けます。

・特定非営利活動法人 舞台21　Tel&Fax 03-5450-5563　butai_21@ybb.ne.jp
〒154-0015世田谷区桜新町2−21−7 臼井ビル301
銀行振込口座：三菱東京UFJ銀行 宮崎台支店 普0068573

お問合せ 特定非営利活動法人 舞台21 Tel&Fax 03-5450-5563　butai_21@ybb.ne.jp ／ 名取事務所 www.nato.jp
※受付会場は開演の45分前、客席会場は各カンパニーによる。 ※未就学児童の入場はお断りしております。

現代イプセン演劇祭　シンポジウム開催

12/2（月）14:00～17:00
早稲田大学大隈講堂小講堂　入場無料

第1部
ムンク生誕150周年に寄せて
「舞台美術家としてのムンクとイプセン」
出席予定者
毛利三彌 フェスティヴァル芸術監督・成城大学名誉教授
千足伸行 美術評論家・成城大学名誉教授
穴澤万里子 日本大学芸術学部演劇学科准教授AICT（国際演劇評論家協会）日本センター事務局長

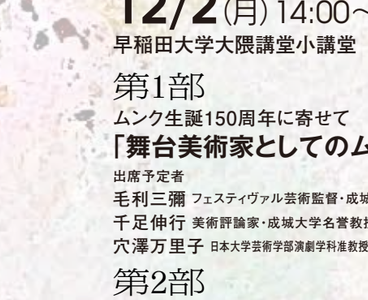
第2部
「『人形の家』上演を巡って」
出席予定者
毛利三彌 フェスティヴァル芸術監督・成城大学名誉教授
三輪えり花 演出家
ユーニ・ダール 女優
ティージー スタン女優
ラドゥ・スタンカ劇場女優

共催：早稲田大学演劇博物館 演劇映像学連携研究拠点
協賛：スカンジナビア・ニッポン ササカワ財団
協力：ノルウェー王国大使館、（有）名取事務所

12/3（火）16:00～18:30
日本女子大学新泉山館大会議室 入場無料
日本女子大学文学部・文学研究科学術交流企画シンポジウム
「イプセンの女たち―その現代的形象―」
司会： みなもとごろう 演劇評論家・日本女子大学名誉教授
出席予定者
コンスタンティン・キリアック ルーマニア国立ラドゥ・スタンカ劇場芸術監督
ユーニ・ダール 女優
津村禮次郎 能楽師シテ方観世流・観世流緑泉会代表
岩淵宏子 日本女子大学教授・女性文学研究者
お問合せ 日本女子大学文学部日本文学科（Tel・Fax03-5981-3522）
〒112-8681 文京区目白台2-8-1
協力：ノルウェー王国大使館

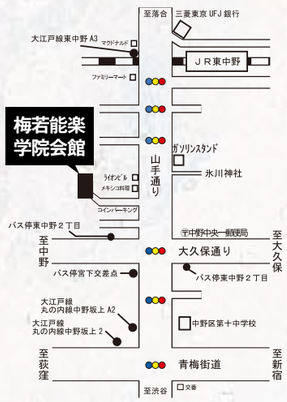
あうるすぽっと
（豊島区立舞台芸術交流センター）
〒170-0013
東京都豊島区東池袋4-5-2
ライズアリーナビル2F
03-5391-0751
http://www.owlspot.jp

●東京メトロ有楽町線「東池袋駅」6・7番出口より直結
●JR他「池袋駅」東口よりグリーン大通り直進 徒歩10分
●都電荒川線「東池袋四丁目駅」より徒歩2分



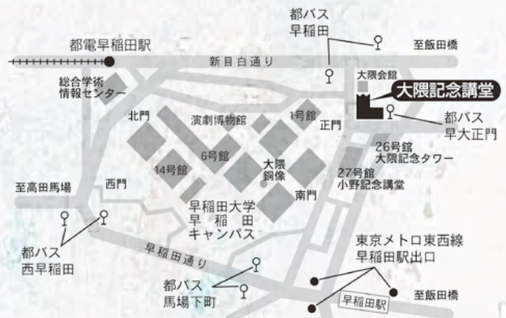
シアターX
〒130-0026
東京都墨田区両国2-10-14
03-5624-1181
http://www.theaterx.jp/

●JR総武線「両国駅」西口より徒歩3分
●大江戸線「両国駅」A5出口より徒歩8分



梅若能楽学院会館
〒164-0003
東京都中野区東中野2-6-14
03-3363-7748
http://umewakanoh.exblog.jp/

●総武線「東中野駅」西口 徒歩8分
●大江戸線「東中野駅」A1出口 徒歩8分
●大江戸線・丸ノ内線
「中野坂上駅」A2、2出口 徒歩8分
※駐車場はございません。電車・バスをご利用ください。



〒169-8050 新宿区西早稲田1-6-1　03-3203-4141（総合案内）
●東京メトロ東西線「早稲田駅」より徒歩5分　●都電荒川線「早稲田駅」より徒歩5分
●学バス　高田馬場駅 - 早大正門
●バス　新宿駅西口 - 早稲田／渋谷駅 - 早大正門／上野広小路 - 早稲田

DESIGN: GOAT

世界のイプセン舞台
その衝撃！
再び!!

CONTEMPORARY IBSEN FESTIVAL 2013 TOKYO

第２回東京ミドルシアター・フェスティヴァル

現代イプセン演劇祭

「人形の家」特集　2013 11/27 WED – 12/15 SUN

2013 / 2014 あうるすぽっとタイアップ公演シリーズ
11月27日（水）～12月8日（日）　劇場：あうるすぽっと
共催：あうるすぽっと（公益財団法人としま未来文化財団）

ティージー スタン／ベルギー
ユーニ・ダール／ノルウェー
ルーマニア国立ラドゥ・スタンカ劇場／ルーマニア
カンパニーデラシネラ／日本

12月10日（火）　劇場：梅若能楽学院会館
名取事務所／日本

シアターX提携公演
12月13日（金）～15日（日）　劇場：両国 シアターX カイ
マリアシアター／チリ

平成25年度国際芸術交流支援事業
Supported by the Agency for Cultural Affairs, Government of Japan in the fiscal 2013

特別協力：ノルウェー王国大使館
協力：名取事務所／㈲東京舞台企画／㈱オフィスＫ２／ウチヤマ工房／タケスタジオ／ＮＰＯグローバルプランナーズ／ワールド・プロジェクト㈱／㈳名取事務所／井出比呂之

世界に及ぶ『人形の家』の現代性

東京で開かれる国際的なイプセン・フェスティヴァルも2回目となる。3年前の第1回以来、イプセンの現代的上演の波はますます高まってきているが、その衝撃のしぶきは、これまでのイプセン上演の中心を占めていた西ヨーロッパをこえて、全世界に及んでいる。今回招聘する東欧のルーマニアや南米のチリのイプセン舞台が、そのことを如実に示してくれるだろう。

今回のイプセン祭の一つの特徴は、『人形の家』の現代的舞台化が中心を占めたことである。これは、現代性に富んだイプセン舞台を求めて、意図せずしてそうなった。イプセン劇のもっとも人口に膾炙した劇が、その解釈は様々でも、現代社会に対してもっとも先鋭な表現を突きつける。

このフェスティヴァルを、現代イプセン演劇祭と銘打った所以である。

現代イプセン演劇祭 芸術監督
毛利三彌

11/27（水）18:30開演　28（木）14:00開演

劇場：あうるすぽっと

tg STAN ティージー スタン／ベルギー

Nora ノーラ

©Magda Bizarro

上演時間約1時間50分　英語上演・日本語字幕付
出演：ヨレンテ・デ=ケースマエカー　ヴィーネ・デリックス　他

全席指定／前売5,000　当日6,000円
学生3,000円（舞台21のみ取り扱い）
豊島区民割引4,500円（在住・在勤／要証明書提示）
※豊島区民割引は、あうるすぽっとチケットコールのみ前売取扱

ベルギーアントワープの劇団・初来日。演出家を置かず、役者間の徹底したディスカッションで芝居を作るのを特徴としている。2012年オスロでのインターナショナルイプセンフェスティヴァルでオープニングを飾った作品。フランダース、オランダにおいて今年のベスト10に選出されている。現代的セット、激しいダンス、ランク・クログスタ、リンデ夫人・乳母の一人二役、誰一人舞台を去らず着替えまで見せる。又、この作品は我々に、初演の1879年以来、本当に女性の地位が変わったであろうか、と問いかけている。

11/30（土）18:00開演　12/1（日）14:00開演

劇場：あうるすぽっと

Juni Dahr ユーニ・ダール／ノルウェー

Ibsen Kvinner
Sett en ørn i bur
イプセンの女たち ― 鷲を鳥籠に入れたら

©Joanna butler

上演時間約1時間　ノルウェー語上演・日本語字幕付
出演：ユーニ・ダール　音楽：クリス・プール

全席指定／前売4,500円　当日5,500円
学生3,000円（舞台21のみ取り扱い）
豊島区民割引4,000円（在住・在勤／要証明書提示）
※豊島区民割引は、あうるすぽっとチケットコールのみ前売取扱

1989年にユーニ・ダールは自身の劇団「ヴィジョンズ・シアター」を設立。これまでに25作品を制作、アメリカ合衆国、ヨーロッパ各国、インド、パキスタン、バングラディッシュ、南米、ロシア、中国、北欧各国等様々な国、地域公演を行っている。この「イプセンの女たち」はイプセンの作品に登場する6人の女性像ヒルデ（『棟梁ソルネス』）、ヘッダ（『ヘッダ・ガブラー』）、アルヴィング夫人（『ゆうれい』）、ノーラ（『人形の家』）、エリーダ（『海の夫人』）、ヒョルディス（『ヘルゲランの勇者たち』）が登場する1人芝居。

12/4（水）18:30開演　5（木）14:00開演

劇場：あうるすぽっと

National Theatre Radu Stanca
ルーマニア国立ラドゥ・スタンカ劇場 ／ルーマニア

NORA ノーラ

©Pierre Borasci

上演時間約1時間30分　ルーマニア語上演・日本語字幕付
演出：ラドゥ・アレクサンドル・ニカ
出演：ディアナ・フェザン　オフェリア・ポピ　アドリアン・マティオク　他

全席指定／前売5,000円　当日6,000円
学生3,000円（舞台21のみ取り扱い）
豊島区民割引4,500円（在住・在勤／要証明書提示）
※豊島区民割引は、あうるすぽっとチケットコールのみ前売取扱

1788年に建設された伝統ある劇場であり、2000年にコンスタンティン・キリアックが芸術監督に就任してから活動が評価され、03年には「ルーマニアでもっとも重要な劇場」として表彰、04年には国立劇場となった。またラドゥ・スタンカ劇場は、1994年以降毎年6月に開催されるシビウ国際演劇祭の共同主催者でもある。シビウ国際演劇祭は、現在世界約70カ国の芸術家が参加する、エディンバラ、アヴィニオンに並ぶ規模を誇る東欧最大の演劇祭となっている。『ルル』（オフェリア・ポピ主演）での来日公演も記憶に新しい。『ノーラ』演出のラドゥ・アレクサンドル・ニカはこの作品でUNITERデビュー賞を受賞。今最もルーマニアで期待される若手演出家である。

12/7（土）18:00開演　8（日）13:00／17:00開演

劇場：あうるすぽっと

Company Derashinera
カンパニーデラシネラ／日本

NORA ノーラ

2013年2月 世田谷パブリックシアター公演『異邦人』 ©杉能信介

上演時間約1時間20分
演出：小野寺修二　テキスト：山口 茜
出演：川口隆夫　竹内英明　傳川光留　中川晴樹　小野寺修二

全席指定／前売5,000　当日6,000円
学生3,000円（舞台21のみ取り扱い）
豊島区民割引4,500円（在住・在勤／要証明書提示）
※豊島区民割引は、あうるすぽっとチケットコールのみ前売取扱

カンパニーデラシネラ新作。
舞台21がこのフェスティヴァルの為に小野寺氏に委嘱した作品であり「人形の家」からインスピレーションを得て作る作品。
マイム・ダンス・演劇の要素が融合した表現方法を駆使し以前より進化した作品として期待が持てる。出演は男性だけ。
いったいノーラは?

12/10（火）19:00開演

劇場：梅若能楽学院会館

Theatre Office Natori
名取事務所／日本

ふたりのノーラ ~「人形の家」による現代能~
Double Nora
A modern Noh play based on *A Doll's House* by Henrik Ibsen

上演時間約1時間10分
台本：上田邦義　毛利三彌　演出：毛利三彌
能作：津村禮次郎　出演：津村禮次郎　水野ゆふ　高橋正光　池田 勝　他

全席自由／前売5,000円　当日6,000円　学生3,000円（舞台21のみ取り扱い）

「人形の家」にもとづく能形式の作品。「人形の家」のノーラには新旧二人の女性像が重なっている。それを能役者と現代女優の新旧二つの表現スタイルによって、深くかつ鮮明に表そうとした。オスロのインターナショナル・イプセン・フェスティヴァルをはじめ、ロンドン、ウィーン、北欧・東欧各都市に招かれ、海外で高い評価を受けている。
今回が日本での最終公演となる。

12/13（金）18:30開演　14（土）・15（日）14:00開演

劇場：シアターX

TEATRO LA MARÍA マリアシアター／チリ

PERSIGUIENDO A NORA HELMER
ノーラ・ヘルメルを追いかけて

© RODRIGO RUIZ

上演時間約1時間30分　スペイン語上演・日本語字幕付
演出：アレクサンドラ・フォン=フンメル
出演：タマラ・アコスタ　エルヴィス・フエンテス　アレクシー・モレーノ　他

全席自由／前売5,000円　当日6,000円　学生3,000円（舞台21のみ取り扱い）

南米チリのカンパニー。初来日。刺激的な幕開き。アドリブやコンテクストを再現していく手法を使って作品を作ることを特徴にしている。このカンパニーはこの作品で"ノーラの視点から見た"イプセン原作を提示する試みをしている。社会的より政治色の強い作品でまた役者達も高水準の力を持っている。